



# 地域の活性化にチャレンジ!

## 小早川 武史 さん

所在地 豊根村

YouTubeチャンネル▶



チョウザメの養殖  
学習塾の運営など

## 安定した人生よりも チャレンジすることを選ぶ!

名古屋出身の小早川武史さんは、東京の大学に通う3年生の時に、「地域おこし協力隊」の制度を利用して、豊根村に生活の拠点を移しました。大学では、就職活動も順調で、大手銀行から就職の内定をもらっていましたが、それを断っての決断です。「大企業に入社すれば、給料も高いし、周囲にもいい顔ができますが、それが本当に自分のやりたい仕事なのか疑問がずっとありました」と小早川さん。そんな時、高校から続けている得意のマラソンを生かして、オーストラリアに短期間の留学をする機会を得ました。異国の



オーストラリア  
で過ごした貴  
重な経験



地でフルマラソンに参加し、現地の人たちと交流することで、小早川さんのなかの価値観が大きく変化したそうです。「現地の人たちは、本当に楽しそうに、自分のペースを大切に暮らしています。順位が悪くても、マラソンが終われば楽

しくみんなで酒を飲む。毎回、何がいけなかったのか反省会を開いていた自分の経験との違いに、驚くとともに新鮮な感動を覚えました」と言います。この留学での体験が背中を押して、豊根村での新たなチャレンジを小早川さんに決断させました。



豊根村にある養殖場

## 初めての場所で 未知の生物の養殖に挑む!

豊根村を活動の場に選んだのは、チョウザメの養殖とその卵「キャビア」の生産に取り組むためです。移住先として他の市町村も検討しましたが、豊根村は「チョウザメで村を盛り上げていくんだ」という明確で具体的なビジョンがあったところに共感したそうです。しかし、チョウザメはおりか、魚の養殖経験など無い小早川さんにとっては、全てが手探りでスタートです。チョウザメ養殖の先駆者である、トヨネフィッシュファーマーズの熊谷仁志さんや、豊根村役場の支援を受けながら、小さな水槽から養殖をスタート。しごきまごころかえぬむかびんざいやく試行錯誤を繰り返し、5年目を迎えた現在、約2,000匹のチョウザメを養殖するまでになりました。しかし、チョウザメは身が食べられるまで5~6年、キャビアが採れるまで最低10年かかると言われています。小早川さんのチャレンジはまだまだ続きます。



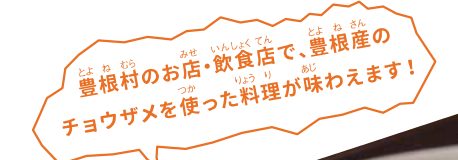
キャビアが  
採れるまで  
あと5年!



孵化して半年ほどの  
チョウザメの稚魚



水槽には、養殖場近くの川から水を引いています。きれいな水が豊富に流れる豊根村だからこそできるやり方です。



豊根村のお店・飲食店で、豊根産の  
チョウザメを使った料理が味わえます!



道の駅グリーンポート宮嶋  
チョウザメの身を使った「ザメ重」

# 自然とチョウザメを相手に奮闘の日々

自然や生物を相手にする養殖の仕事は決して楽なものではありません。毎日エサを与え、水槽の掃除などの世話をしなければ、すぐに病気になって死んでしまいます。台風や大雨の際には、一晩中水槽の様子を見なければならぬこともあります。その他、事務作業や自身のYouTubeチャンネルの編集など、小早川さんの仕事は膨大です。それでも、チョウザメの養殖で豊根村を元気にするという目標があるから、前向きに、この大変さを楽しみながら、仕事に取り組むことができています。



自然のなかで体を動かす仕事合っているという小早川さん

YouTubeチャンネルで情報発信



## 愛知駅伝 最下位脱出にむけて奮闘

養殖業に奮闘する小早川さんですが、隔週の水曜と木曜の夜には、ランニング教室を豊根小中学校のグラウンドで開催。学生時代にマラソンに取り組んだ経験を生かして、子どもから大人まで、30人ほどを指導しています。また、毎年開催される愛知駅伝の、豊根村チームの選手兼監督でもある小早川さん。毎回最下位が定位置となっている豊根村を、一つでも上の順位に上げられるよう、指導にも熱が入ります。

## 豊根の子どもたちは 学ぶことの楽しさを教える

村の子どもたちに勉強を教える、学習塾の講師の顔も持つ小早川さん。豊根中学校の寮だった施設や小早川さんの自宅、オンラインで授業を行うほか、予約制で家庭教師も引き受けています。以前は塾に通うため、片道1時間かけて新城市まで行く必要がありましたが、小早川さんのおかげで、この移動の負担が解消されました。また、村内に住む信頼のおける人に勉強を教えてもらえることが、保護者にとっては大きな安心感につながっています。そんな、地域の学力向上にも一役買っている小早川さん。生徒たちにとっては、先生というよりも、何でも相談できる「友だち」のような存在で、それが学校とはまた違う、学びの楽しさを伝える役割を果たしています。



この日は高校受験対策の授業を実施



ひとりひとりに寄り添った指導



生徒から「こばくん」と呼ばれる小早川先生

## 小早川さんからみんなに MESSAGE

### 私の元気の源は、みんなです!

私がんばる原動力は、豊根村の子どもたちです。楽しみながら地域の活性化に取り組んでいる姿を見せることで、いつかみんなが村に帰ってきてくれると思っています。周りの人は大変そうと言いますが、ご飯は最高に旨いし、人はとってもあたたかい。事業を成功させて、村のみなさんに恩返しをしたいです。

